

令和 6 年度 内部技術評価の実施

当社では、PCB 廃棄物処理事業の円滑な実施のため、PCB 廃棄物の安全、確実な処理及び事故等の未然防止の観点から、全 PCB 処理事業所（以下、PCB 処理事業所を「事業所」という。）を対象に、各事業所年 1 回の内部技術評価（以下、「技術評価」という。）を実施している。

本資料は、内部技術評価実施要領に基づき、令和 6 年度に実施した技術評価結果の概要をまとめたものである（詳細は別紙参照）。

1. 令和 6 年度実施結果

1) 令和 6 年度の技術評価は、

- ①. 操業計画に基づく処理の進捗状況
- ②. 保全計画に基づく設備保全の実施状況
- ③. 処理施設の解体撤去の進捗状況
- ④. 運転廃棄物及び処理施設解体撤去物の処理状況

の 4 項目に重点を置いて評価を行った。

2) 評価体制

技術評価責任者 PCB 処理事業部長

技術評価チーム

主任技術評価員 PCB 処理事業部員より選任

技術評価員 PCB 処理事業部安全事業課員（2 名）
評価対象事業所以外の事業所員（1 名）

3) 評価結果

- ①. 全事業所を通して指摘事項はなく、PCB 廃棄物(営業物)の処理が計画的に進められていること、北九州、豊田及び大阪の 3 事業所については、令和 5 年度をもって PCB 廃棄物(営業物)の処理が終了したことを確認した。
- ②. また、設備保全、処理施設の解体撤去及び運転廃棄物等処理についても特に問題なく、順調に作業が進められていることを確認した。

2. 令和 7 年度実施計画（案）

- 1) 令和 7 年度の技術評価は、東京、北海道両事業所共通で、前回と同じく下記 4 項目に重点を置いた評価を予定している。なお今後、事業検討委員会並びに各事業部会、監視委員会等の審議や要請等により追加・変更等を加える場合がある。

- ①. 操業計画に基づく処理の進捗状況
- ②. 保全計画に基づく設備保全の実施状況
- ③. 処理施設の解体撤去の進捗状況
- ④. 運転廃棄物及び処理施設解体撤去物の処理状況

- 2) 令和 5 年度をもって対象物の処理を終了した北九州、豊田及び大阪の 3 事業所については、解体撤去工事監査による評価を予定している。